

令和元年度業績ハイライト

預金積金残高

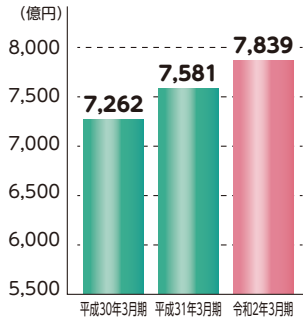
7,839億円

夏冬2回の定期預金キャンペーン実施に加え、静岡市と連携した預金商品を販売いたしました。

また、子供達に学ぶ楽しさと喜びを提供する「せいしん「きっずクラブ」」を組織し、地域のお客さまとのつながりを深めてまいりました。

その結果、預金積金残高は前期比258億18百万円増加いたしました。

[預金積金残高の推移]



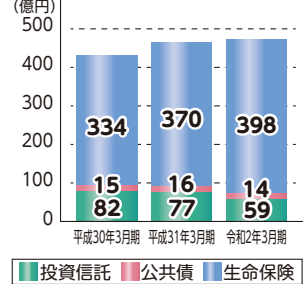
預かり資産等残高

472億円

「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティ）に関する基本方針」に則り、分かりやすい説明と適切な情報提供に努めてまいりました。

その結果、投資信託・公債・生命保険の合計残高は472億60百万円となりました。

[預かり資産等残高の推移]



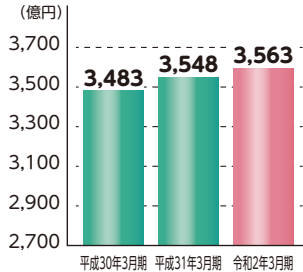
貸出金残高

3,563億円

事業者のお客さまにはSDGsの取組みを支援する「せいしん「SDGs サポートローン」」、個人のお客さまには自然災害罹災時に返済を一定期間免除する「自然災害時返済支援付住宅ローン」の取扱いなど、お客さまのニーズにきめ細かく対応してまいりました。

その結果、貸出金残高は前期比15億51百万円増加いたしました。

[貸出金残高の推移]

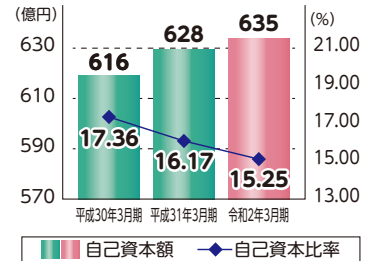


自己資本比率(単体ベース)

15.25%

自己資本比率は15.25%と、リスクアセットの増加により前期比0.92ポイント低下いたしました。引続き国内基準(4%)を大きく上回る健全性を維持しております。

[自己資本額/自己資本比率の推移]

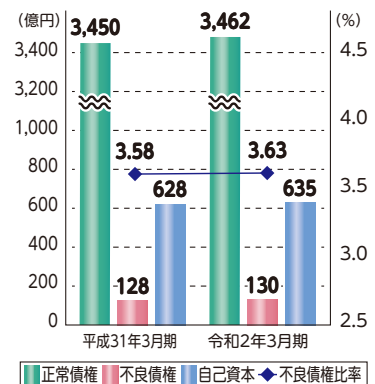
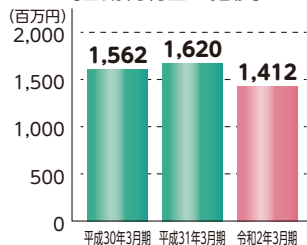


不良債権の状況(金融再生法ベース)

金融再生法上の不良債権残高は130億円となり、不良債権比率は3.63%となりました。

この内、担保・保証および貸倒引当金で120億円、92.63%がカバーされ、残りの不良債権残高も潤沢な自己資本635億円によりカバーされております。

[当期純利益の推移]



当期純利益

14億円

引き続き経費等のコスト削減に努めましたが、前期に計上した貸倒引当金戻入益がなくなったこと等により経常収益が減少し、当期純利益は14億12百万円となりました。